

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス
クレヨン フジノ

公表:令和 4 年 12 月 1 日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			相談室も開放しています。	活動内容に応じて部屋を分けるなど適切な対応を心がけていきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	7			適切な人員を配置しています。	指定基準にプラス1名以上の職員を配置しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7			安全第一で環境整備を行っています。	玄関前の階段は予算上バリアフリーは出来ないが、施設内は段差を無くし生活空間を分かりやすい様に分けています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7			施設内の定時消毒や玩具や手指の消毒や換気を徹底し、密にならないように部屋を分けるなどしています。	状況に応じて過ごしやすい環境整備を意識して行っていきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7			毎月の打ち合わせや必要に応じて打ち合わせを行い、目標設定と振り返りを行っています。	速やかにわかりやすく情報共有を行っていきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			保護者様向け評価表を使いアンケートを実施し、保護者様の意向等を把握し業務改善に務めています。	保護者様のご意見以外にも改善が必要な時は速やかに対応していきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			ホームページにて公開しています。	保護者より頂いたご意見を把握し必要に応じて速やかに改善につとめていきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7				以前は外部の助言指導を受けていたがコロナを機に中断しているが、再開出来る様検討していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			外部研修に積極的に参加しています	研修内容をいかしていけるように心がけていきます。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7			保護者様よりヒヤリングを実施した情報を基にニーズや課題を取り入れ、支援計画に反映しています。	普段より保護者様や保育園の先生からもこまめにヒヤリングし支援計画に反映していきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			ツールを使用しています。	ツールを使用し必要な支援に反映していきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7			ガイドラインに沿って家族支援や関係機関との連携を行っています。	児童発達支援計画作成後に、保護者様へ具体的な支援内容の共有を行っています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7			支援計画に基づいた支援ができるように心がけています。	共有が必要なことがあれば都度職員間で共有を行い支援計画に沿った支援を行います。

	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			職員全員で行っています。	職員で情報を共有しながら行なっています。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			朝礼・終礼・打ち合わせにて状況に応じてスケジュールを変えています。	季節に沿った制作や活動の中で新しい経験を増やしていける様に柔軟に対応していきます。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	7			個別にその子に合わせた支援計画を作成しています。	個別活動と集団活動を組み合わせながら児童合わせた支援計画を作成していきます。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			共有ノートや各自の役割を確認する時間を設けています。	柔軟に対応できるように情報の共有をこまめに行っています。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7			支援終了後にその日の振り返りを行いスタッフ間で情報共有をしています。	共有ノートで周知や打ち合わせで更に振り返りを徹底して支援にいかしていきます。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			こまめに記録をとることを心がけて話し合いをしています。	記録を基に支援計画の統合性を図りアセスメントをして支援につなげていきます。
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7			評価表の作成やモニタリングを実施し見直しの必要性を判断しています。	モニタリングの情報を共有し職員間でのアセスメントも行っています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			児童発達支援管理責任者が参加しています。	会議の情報を職員間で共有し意義のあるものにしていきます。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7			主に送迎時に関係機関と連携を図っています。	関係機関との連携を密にしより多くの情報共有を行っています。
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	7				現在は対象者はいませんが、今後そのような場合は関係機関と連携していきます。
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7				現在は対象者はいませんが、今後そのような場合は関係機関と連携していきます。
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7				現在は対象者はいませんが、今後そのような場合は関係機関と連携していきます。
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7			必要があれば情報交換や共有を行っています。	円滑な移行支援が行えるように情報交換や共有を行います。
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7			児童発達支援センターの研修に参加し定期的に訪問頂き助言を頂いています。	これからも助言頂いた内容を共有し反映していきます。
	㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7				コロナ禍のため積極的には行っていません。

	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	7			南区子ども部会に参加しています。	これからも子ども部会の情報を反映していきます。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			連絡帳や送迎時に情報を共有し共通理解を図っています。	保護者様と情報を共有しながら相談しやすい雰囲気づくりに努めています。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		7			コロナ禍のため自粛しているが、茶話会が再開された際に議題として実施します。
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			契約時に詳しく説明を行っています。	今後もしっかりと正確な説明を心がけていきます。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7			保護者様のニーズを取り入れて支援計画を作成し、送迎時等で説明し同意の上で署名・捺印を得ています。	丁寧な説明を心がけ、保護者様が理解しやすい様に疑問点があればわかりやすく説明していきます。
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			連絡帳や送迎時に必要に応じてアドバイスを行っています。	保護者様からの悩みや相談に必要に応じて時間を設けて対応していきます。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		7			コロナ禍のため自粛しているが、再開時は定期的に茶話会を実施し、保護者同士の連携を支援していきます。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			時間を設けて迅速に対応しています。	今後も迅速な対応や丁寧な聞き取りを心がけていきます。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			月に1度お便りを発行し保護者様へ配布しています。	お便りを通して活動の様子や情報をわかりやすく発信していきます。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7			契約時に個人情報保護の説明を行い書類を作成し同意を得ている。	守秘義務の周知徹底やシュレッターを活用し個人情報の流出や資料などの取り扱いには十分注意していきます。
	③9	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			その子の特性に応じたツールを使用し意思疎通を図り、保護者様とは連絡帳や送迎時やラインを使い確実に伝わる様になっている。	各自に合ったツールを使用し確実に情報が伝わるように心がけていきます。
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		7			コロナ禍のため積極的には行っていないがコロナが落ち着いたら検討していきます。
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7			マニュアルの作成の他に年間行事に訓練を組み入れて実施しています。
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			災害・火災・地震訓練を定期的に行っています。	緊急時を想定しやすい様な説明を行っています。
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のことものの状況を確認しているか	7			情報を把握できるように契約時に独自の書類を作成し記入してもらっています。	新しい情報があれば都度共有し把握していきます。

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	7			保護者様より指示を頂いたり、検査表の写しを頂くことがあります。	指示通りに対応できるよう意識していきます。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			ヒヤリハット事例集を作成し共有しています。	事例集を用いた検討会を行えるように検討していきます。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			可能な限り研修会へ参加しています。	研修会の内容を共有し虐待防止を徹底していきます。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7			身体拘束は行っていません。	身体拘束は行っていません。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。